

党国会議員団がリニア駅予定地・沿線を調査

日本共産党国会議員団
東海ブロックニュース

2014年
8月11日
リニア特集
第12号

日本共産党国会議員団東海ブロック事務所
名古屋市中区新栄三丁目十二番二十五号
電話 〇五二(二六四)〇八三三
FAX 〇五二(二六四)〇八五〇
Eメール tokaido@vdb.ne.jp

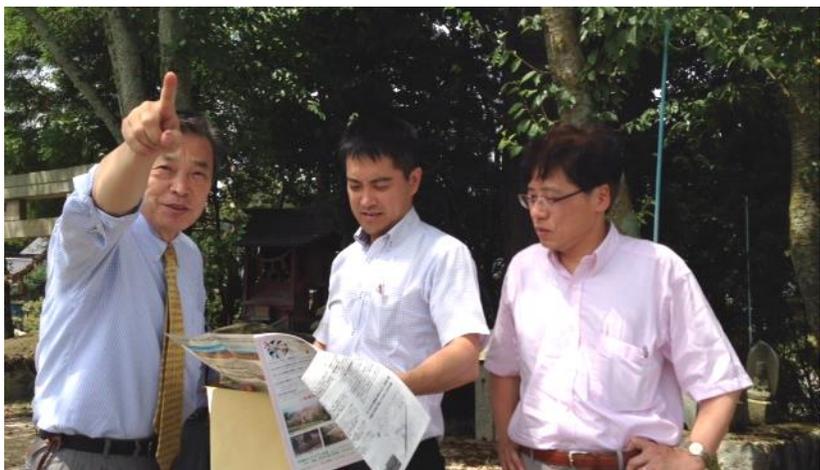
岐阜県駅予定地で住民の不安の声聞く

リニア中央新幹線計画について、党国会議員調査団の穀田恵二衆院議員(団長)と井上哲士、辰巳孝太郎両参院議員は8月7日、岐阜県の駅予定地の中津川市坂本地区を視察しました。

リニアを考える坂本住民の会の会員らが案内し、大須賀しずか県議(衆院岐阜1区候補)や地方議員が同行しました。

静かな田園と美しい山々に囲まれた美乃坂本地区に高さ30メートル、長さ1キロの巨大な駅が建設され、景観が大きく変えてしまふこととなります。

住民の会事務局長の林茂実さんは、駅の想定地を指差し、「8時間も日陰になる場所もある」と説明しました。ルート目の前にある乳



児院・児童養護施設職員は「のびのびと育てたいのにリニアができたら、がまんしろというのは受け入れがたい。こちらが出て行くことになるのか」と不安を口にしました。車両基地の予定地に住む住民は「ど真ん中にあるのに、JRからも行政からも説明がない。これから余生をすごそうとしていたのに」と訴え。穀田議員は「計画はすすめているのに当事者に知らせないのは許せない。議会で明らかにしたい」と応じました。関連事業の岐阜県の濃飛横断自動車道の建設で、希少植物のハナノキやシデコブシの存続が危惧される岩屋堂湧水湿地帯も調査しました。調査団は視察後、住民らと懇談しました。

春日井市亜炭廃坑で地盤沈下の恐れ調査

党国会議員調査団の井上哲士、辰巳孝太郎両参院議員と佐々木憲昭衆院議員は8月8日、愛知県春日井市と名古屋市を視察しました。本村伸子参院愛知選挙区候補も同行しました。

春日井市では、かつて亜炭鉱を掘った廃坑が地下に無数に点在し数年前にも陥没で住宅が傾く被害がありました。工事による地盤沈下や井戸水の枯渇などが危惧されています。

柳沢けさみ県議候補と伊藤建治春日井市議が水の湧き出ている亜炭廃坑の坑口を案内。廃坑内を満たしている水がリニア工事で抜ければ、陥没する恐れがあると訴えました。

名古屋市内では、わしの恵子名古屋市議(西区県議候補)、青木ともこ(西区)、江上ひろゆき(中川区)、藤井ひろき(中川区)各市議候補も合流し、名古屋駅周辺を調査しました。名古屋駅に向かうルートでは堀川以西から大深度(地下40メートル以上)でない浅深度になり地上権が発生、工事開削工事となり、立ち退きが必要となります。同市中村区の西祐寺住職の廣瀬純史さんや、名古屋駅西銀座通商店街振興組合副理事長の玉樹康幹さんから実情を聞き、駅周辺を調査しました。調査団は視察後、住民らと懇談しました。

